

令和 7 年度第 2 回「こうとう未来ミーティング」実施結果

テ ー マ : 子育て

開 催 日 : 令和 7 年 6 月 28 日(土曜日)

会 場 : 江東区こどもプラザ 多目的スペース 1

参加人数 : 20 名(内、オンライン参加 2 名)

実施形態 : 参加者によるグループワーク(意見交換)



■主なご意見・ご提案等

【グループ 1】

- ・子育て環境について、そもそも、日本では働く時間が長すぎる。
- ・ベビーカーや抱っこ紐で公共交通機関に乗った際、周りからの視線が冷たく嫌な思いをすることもがあるので、子育て専用車両などがあるといい。
- ・「こどもにやさしいまちにしよう」といったメッセージをパンフレット、区報、学校教育の中で発信してほしい。
- ・江東区は障害児に関する相談支援が足りておらず、3 か月待ちの状況。また、障害福祉のサービスについて、説明動画やアプリなどで情報を説明していくことが必要。
- ・区立幼稚園や小学校に、より力を入れるべき。ひとクラスの児童数が多すぎるので 35 人から減らす、サブ担任やサポーターの配置、英語教育など、公教育の充実を図ってほしい。
- ・成長と共に障害のある人と分かれた環境になってしまうので、ともに成長できる環境が必要。

【グループ 2】

- ・ファミリーサポートや産後ケアの予約方法が電話しかないので、アプリなどで簡単に予約が出来るようにしてほしい。
- ・区役所に保育園のことなどで相談に行くと、通路が狭くベビーカーが通りづらい。
- ・小学校や幼稚園の PTA は、親の負担が大きい。

- ・小学生にとってタブレットが重たく、体に負担がかかっている。
- ・幼稚園の教員不足により、サポートが行き届いているか不安。
- ・保育園で3、4、5歳児になった時に園の狭さなど、環境の不安がある。幼稚園の跡地の活用や保育園のリニューアルを検討してほしい。また、説明会だけでは分からないので、幼稚園・保育園に実際に見に行ける機会がほしい。
- ・夏場、プールや水遊びが出来るよう、暑さ対策を考えてほしい。
- ・猿江恩賜公園にカフェや自動販売機を設置してほしい。収益を公園の整備や機能強化に活用することもできる。
- ・児童館の安全面について、乳幼児と大きいこどもたちの仕分けができていない。
- ・幼稚園や保育園などについて、ママ同士が交流・相談できる場がほしい。

【グループ3】

- ・父親向けのゆりかご面接を実施するべき。また、出生届時に、こどもの安全や、赤ちゃんや小さい子用の救命救急の知識について、父親に周知してほしい。
- ・障害児を持ち、医療ケアをしている親御さんの負担感が軽くなるよう、障害児の預かりについてのフォロー体制を整えてほしい。
- ・障害者の放課後施設に対する運営補助を手厚くしてほしい。
- ・王子にある北療育医療センターのような施設を、各区に1個ずつ作ってほしい。
- ・夜間の校庭開放など、こども達が思いっきり運動できる場所を確保してほしい。
- ・公園の一部にフェンスを設置しボール遊びが出来るようにしてほしい。

【グループ4】

- ・全体を通し、江東区は「みずべ」をはじめ、施設、ハードが揃っていて非常に子育てがしやすい。
- ・父、母が子どもをそれぞれ別の園に送迎している家庭がある。保育園の兄弟加点1点は少ないのではないかと。兄弟は必ず同じ保育園にするという施策を作してほしい。
- ・子育て支援に関する広報の充実。サービスを知らず、活用できていない。
- ・私立幼稚園に課題があった際、行政指導できないことに不安がある。ソフト面でできる対応を区でもしっかりとっていただきたい。
- ・次回こうとう未来ミーティングがある際には区の関係部署全ての方に参加していただき、意見交換ができるようにしてほしい。
- ・児童発達支援センターは現状有償。しかし、同じようなお子さんでも保育園に通っている子は無償のため、制度の改正を検討してほしい。
- ・こどもを増やすための取組には、年齢や障害の有無などの環境に関係なく、シームレスな支援が必要。